

木造物件で室内に【止水栓】がある場合

- ※ 建物によって止水栓が複数ある場合があります。＜ UT(脱衣室) とトイレ内など ＞
- ※ 止水栓が壁内にある建物もございますので、不明な場合は管理会社にお問い合わせ下さい。



レバータイプ（上下に操作）



バルブタイプ



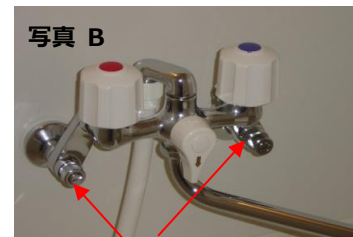
レバータイプ（水平/垂直操作）

↓↓ 以下の手順にて作業して下さい。

- 1 止水栓（給水栓）を最後まで完全に閉める
- 2 室内の給水設備全ての水抜き作業を行なう（上記4枚の写真箇所）
 - ・ トイレのタンクの水を流し、便器とタンクに不凍液を入れる（写真A）
 - ・ 浴室の水とお湯の蛇口を全開にして、シャワーホースを浴槽の床に置く。各蛇口下部にある水抜き栓も両方開ける（写真B）
 - ・ 台所の蛇口を全開にして、蛇口下部にある水抜き栓も両方開ける（写真C） 扉内にある水抜き栓も両方開ける。（写真D）
 - ・ 洗面化粧台の水とお湯を全開にする 扉内にある水抜き栓も両方開ける。（写真E）
 - ・ 洗濯用蛇口の水とお湯を全開にする 洗濯用給水ホースを必ず抜いてから蛇口を開けること（写真F）
- 3 全ての操作完了後、操作盤の電源をOFFにする



レバーは水平に倒し固定させる



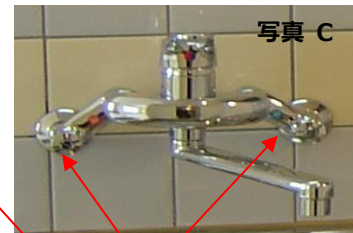
水抜き栓を開けて残水を出す



水抜き栓を開けて残水を出す



台所シンク下



水抜き栓を開けて残水を出す



← 給湯器は電源を入れた状態にして下さい。電源が入っていると凍結防止ヒーターが作動して、給湯器内に残っている水は凍結しません。

通水の場合は逆の手順となります。
必ず室内全ての蛇口・水抜き栓を閉めてから
元栓（給水栓）を開いて下さい。

■ 物件により若干違う場合も有りますので、解らない場合はご連絡願います。